

特集

東日本大震災から 5 年 被災地のいまと、これから

東日本大震災から 5 年を振り返る

災害時(健康危機管理)における保健師の役割とは 奥田博子

いま求めている支援とは

福島県南相馬市からの報告 大石万里子

医療・介護の連携を通じた復興支援

宮城県気仙沼保健福祉事務所の取り組み 高橋祥恵

被災地への保健師の派遣のあり方

神戸市による長期派遣の取り組みを中心に 田中由紀子ほか

被災地の保健活動の課題と今後へ向けて

学会による取り組みを通して見えたこと 宮崎美砂子ほか

PHOTO

日本健康福祉政策学会 ふくしまセミナー

特別記事

減災社会の実現へ向けて

「減災館」の取り組み 飛田潤

連載

統括保健師の日々 濱野芳江

現場の疑問に答える 地域づくり型保健活動 Q&A 岩永俊博

保健師のための行政学入門 吉岡京子

ナカイタ発 保健師へのつぶやき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●生活保護の扶助費のうち、約半分を医療扶助費が占めています。その現状を考えると、国が被保護者の健康管理を自治体に期待する理念はわかります。ただ、高齢者や長期治療を必要とする精神疾患患者が多いという生活保護受給者の特性を考慮すると、後発医薬品の使用促進といった直接的な対策と並列して、保健指導に高い効果を期待することは厳しいと思います。福祉事務所に配置された保健師には、結果にとらわれず、保健と福祉の壁を乗り越えてご活躍いただきたいです。(和田)

●小説『下町ロケット』がテレビドラマ化され放送された。視聴率も高かったので、ご覧になった方も多いと思う。仕事に対する姿勢、そして後半はとくに、医療に関わる者としての姿勢を問う内容だったと言える。原作とは異なるテンポだったが、それがまた面白かった。●自分の仕事に対する信念と誇り、そして自分の時間、人生の一部を削って取り組む仕事の意味をどう考えるか。医療に関わる仕事は人間の生命の安全そのものにつながっていることを心しておきたい。(杉之尾)

保健師ジャーナル 第72巻2号 2016年2月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2016年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

冊子＋電子版/共有：本体19,440円＋税、電子版/個人：本体14,280円＋税、電子版/共有：本体16,440円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：和田/杉之尾/伊藤

Twitter http://www.twitter.com/hokenshiJ Facebook http://www.facebook.com/hokenshiJ

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。